

基礎看護学を再構成する・2 看護の「基礎」を教える とは？

看護を学ぶ者が最初に習うのが基礎看護学です。そこでは、「看護とは何か、看護師とはどのような職業か」を学ぶことになっています。多くの学生は、ここで初めて「看護」にふれることになります。

今回の連続特集は、看護学生が最初に学ばなければならない「基礎」とは何かについて考え、それをふまえたうえで、実際に現場でどのように教えていけばいいのかを検討することにより、「基礎看護学」を充実させるきっかけとしていただくことを目的に組まれたものです。

前号では、看護の「基礎」とは何かを再検討しました。しかし実際の教育現場では、「基礎」の再考も大事とはいえ、科目としての基礎看護学がある以上、それをどのように教えるかが、重要となります。そこで今回は、実際に何を重視して教えていけばいいのか、どう教えているのかについて、現場からの声を集めました。また、臨床現場から基礎看護学を振り返ってもいただきました。

学問としての追求だけではなく、日々教育実践している立場からの「基礎看護学」の再考により、今後の取り組みの充実につながれば幸いです。